

市この一年

平成16年もまもなく暮れようとしています。みなさんの一年間にはどんな出来事がありましたか？岡谷市のこの一年は、第3次岡谷市総合計画後期基本計画のスタートの年、長年の夢である国道20号・142号バイパス開通の年、そして合併協議会の解散により自立の道を歩むことになった年など、大きく揺れた一年でありました。ここで、岡谷市で今年あったさまざまな出来事を振り返ってみましょう。

▶ 岡谷太鼓道場「鼓鳴館」オープン（2/26）



▲ 国道20号・142号バイパス開通（3/27）



◀ 新あやめ保育園開所（4/2）

▶ 諏訪大社下社山出し（4/9～11）



1月

- ・田中線供用開始
- ・防災体験パーク開催
- ・「寒の土用丑の日発祥の地」記念碑建立
- ・第1回市議会臨時会
（選挙管理委員会の委員及び補充員選挙）

2月

- ・岡谷太鼓道場「鼓鳴館」オープン
- ・テクノプラザおかや
“ものづくりフェア2004”開催
- ・第2回市議会定例会（～3月）
（条例改正、16年度予算審議等）
- ・全日本ショートトラック
スピードスケート選手権大会開催

3月

- ・国道20号・142号バイパス同時開通
- ・諏訪地域6市町村任意合併協議会解散
- ・地域密着型ハイブリッド
ショッピングモール「商人堂」^{あきんど}オープン
- ・岡谷市新エネルギービジョン策定
- ・中部大学の産学連携諏訪支援室開設
- ・カノラホール開館15周年記念
創作オペラ「御柱」上演
- ・おかやバレーボールフェスタ開催

4月

- ・第3次岡谷市総合計画後期基本計画施行
- ・岡谷市男女共同参画条例制定
- ・市制施行68周年記念式典
- ・新あやめ保育園開所
- ・ロマネットリニューアルオープン
- ・岡谷市健康増進計画策定
- ・岡谷市地域福祉計画策定
- ・廃蛍光管リサイクル開始
- ・サンデーリサイクルデー開始
- ・諏訪大社下社御柱祭（山出し）
- ・やまびこ公園ドッグラン整備

5月

- ・湖周都市合併市民懇談会開催（～6月）
- ・湊土地利用研究会設置
- ・レイクタウンおかや 住宅用地分譲
- ・第6回塩嶺王城パークライン
10マイルマラソン大会開催
- ・第3回市議会臨時会
（議会運営委員会の選任、条例改正等の審議）
- ・諏訪大社下社御柱祭（里曳き）

6月

- ・岡谷駅前再開発ビル「ララオカヤ」取得
- ・第4回市議会定例会
（ララオカヤ取得に伴う補正予算、
条例改正などの審議）
- ・山梨大学諏訪リエゾンオフィス開設

平成16年 岡谷

7月

- ・岡谷市・諏訪市・下諏訪町法定合併協議会設置
- ・第5回市議会臨時会
(2市1町合併協議会設置などの審議)
- ・参議院議員通常選挙
- ・シルキーバスやまびこ公園線スタート
- ・OKAYAアイズフェスティバル開催
- ・エコフェスティバル・
やまびこフェスティバル同時開催
- ・公的個人認証サービス開始
- ・Vリーグ「サントリーサンバース」
バレーボールクリニック
- ・長地・神明小学校低学年プール完成



▲サントリーサンバース・バレーボールクリニック (7/22)



▲山梨大学諏訪リエゾンオフィス開設 (6/30)

8月

- ・第35回岡谷太鼓祭り開催
- ・第6回市議会臨時会
(（仮称）湊保育園建築工事請負契約などの審議)
- ・防災訓練（モデル地区小井川区）
- ・（仮称）湊保育園建設工事着工
- ・国際交流員にセーラ・アキレスさん就任
- ・清掃工場無事故1500日達成
- ・市立岡谷蚕糸博物館開館40周年記念特別展



◀岡谷市・諏訪市・下諏訪町合併協議会設置 (7/20)
同協議会解散 (11/10)

9月

- ・緑と湖のまち・ふれあいフェスタ開催
- ・岡谷農業フェスティバル開催
- ・おかや健康ふれあい祭開催
- ・第7回市議会定例会
(15年度一般会計等の決算認定、条例制定、16年度補正予算などの審議)
- ・岡谷病院ISO9001取得
- ・東部中学校第一体育館耐震改修工事完成



▲第35回岡谷太鼓祭り (8/13・14)

10月

- ・岡谷市市民総参加のまちづくり基本条例制定
- ・岡谷市生活安全安心条例制定
- ・「ララオカヤ」リニューアルオープン
- ・産学連携高度情報ネットワークシステム
(TV会議システム) 開始
- ・ものづくり大学の産学連携諏訪支援室開設
- ・市営住宅田中線団地完成
- ・武井武雄生誕110周年記念講演会



▲ララオカヤ・リニューアルオープン (10/16)

11月

- ・岡谷市・諏訪市・下諏訪町法定合併協議会解散
- ・第8回市議会臨時会
(2市1町合併協議会廃止、条例改正などの審議)
- ・スペシャルオリンピックス冬季世界大会
〈絆の火〉500万人トーチラン岡谷開催

12月

- ・Vリーグ男子岡谷大会開催
- ・きぬのふるさと「岡谷絹工房」
リニューアルオープン
- ・新まゆみ園・岡谷市福祉作業所開所
- ・第9回市議会定例会
- ・小井川小学校教室棟耐震改修工事完成

市では、年2回財政状況を公表しています。

市民税などの市税、国から交付される地方交付税などをもとに予算をたて、よりよい市民生活を目指してさまざまな事業を行っています。みなさんの税金がどのように使われているかご覧ください。

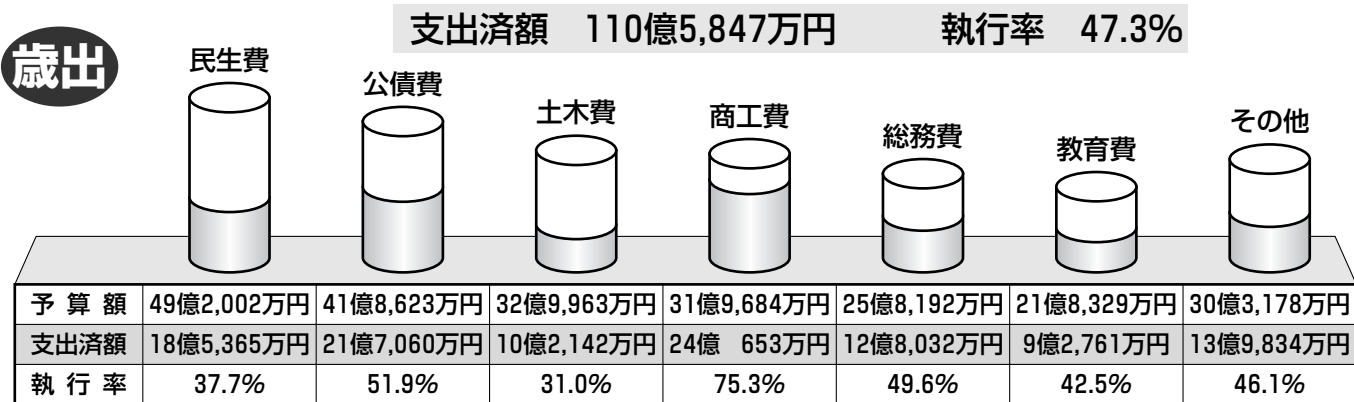
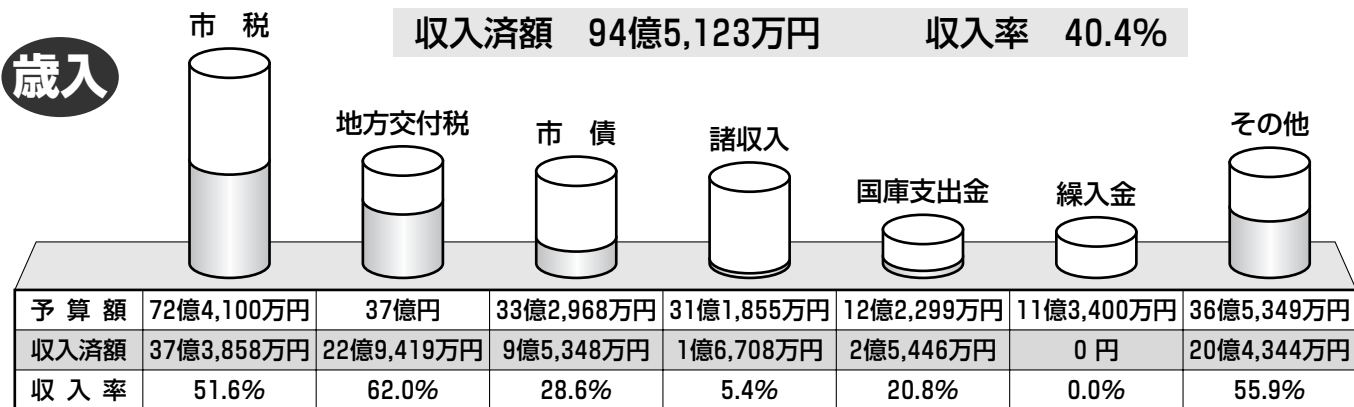
らせします

◆ご不明な点は…

財政課 ☎23-4811
(内線1531)

一般会計

予算額 233億9,971万円



◆歳入
 予算額に対する収入割合は40.4%で、前年度同期の38.6%と比較して1.8ポイントの増、収入済額は4億7,404万3,460円の増となっています。
 予算額の款別構成比率は、市税が最も大きく30.9%を占め、地方交付税15.8%、市債14.2%がこれに続いて大きな割合を占めています。

◆歳出
 この結果今期末予算額は233億9,971万円となり、前年同期の232億5,478万8千円と比較して1億4,492万2千円の増となっています。また5年前の平成11年度と比較すると6.8%の増になります。

平成16年度上半期の一般会計は、5月の第1号から8月の第6号まで6回の補正が行われ、補正額は847.1万円となりました。
 その内容をみますと、岡谷駅前再開発ビル整備並びに管理に要する経費715.5万円、市立岡谷病院事業会計負担金の追加分300万円、保育所建設整備事業費の減額1億840万円、等が主なものとなっています。

一般会計

平成16年度 上半期

(平成16年9月30日現在)

市の財政状況をおし

特別会計

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	44億 300万円	14億8,329万円	33.7%	16億 628万円	36.5%
地域開発事業	15億2,750万円	4億5,233万円	29.6%	9億3,205万円	61.0%
分収造林事業	2,970万円	176万円	5.9%	78万円	2.6%
交通災害共済事業	4,240万円	4,540万円	107.1%	393万円	9.3%
霊園事業	1,420万円	2,352万円	165.7%	544万円	38.3%
老人保健事業	54億7,129万円	22億5,308万円	41.2%	22億 626万円	40.3%
温泉事業	2,740万円	2,370万円	86.5%	285万円	10.4%
訪問看護事業	4,360万円	5,043万円	115.7%	1,691万円	38.8%
合計	115億5,909万円	43億3,351万円	37.5%	47億7,450万円	41.3%

財産と借入れ

市の財産	土地	87万3,965㎡
	建物	27万1,327㎡
	基金等	72億5,848万円
市の借金	有価証券	5億 560万円
	市債(累計)	259億5,463万円
	一時借入等	17億9,398万円

(企業会計・特別会計を除く)

企業会計

会計名	収入		支出		
	予算額	収入済額	予算額	支出済額	
岡谷病院事業	収益的収支	45億6,700万円	20億1,062万円	45億6,700万円	20億1,595万円
	資本的収支	2億9,852万円	2,000万円	6億2,163万円	2億6,146万円
塩嶺病院事業	収益的収支	40億9,100万円	18億5,889万円	40億9,100万円	18億8,462万円
	資本的収支	1億 35万円	45万円	3億 850万円	8,518万円
水道事業	収益的収支	9億7,760万円	4億9,986万円	9億4,653万円	4億1,017万円
	資本的収支	3,301万円	194万円	6億1,870万円	1億2,890万円
下水道事業	収益的収支	20億3,602万円	9億1,921万円	17億9,937万円	8億5,713万円
	資本的収支	10億7,006万円	3,338万円	15億 788万円	5億2,909万円

◆歳出

予算額に対する支出割合は47・3%で、前年度同期の45・4%と比較して19ポイントの増、支出済額は5億229万4074円の増となっています。

予算額の款別構成比率は、民生費が21・1%を占め、以下公債費17・9%、土木費14・1%、商工費13・7%と続いています。

特別会計

上半期は、老人保健事業の医療費支払基金等の返還に要する経費1929万6千円が補正されました。

計画行政で 健全な財政運営を

平成16年度の上半期の財政事情については、国の三位一体改革による地方交付税等の縮減の影響などから一層厳しさを増し、今後の見通しは予断を許さない状況にあります。よって、今後とも徹底した経費の節減と効率的な行政運営のもとに健全財政の堅持を念頭にしつつ、一層多様化する市民要望の実現と福祉の向上に努めていきます。